

【市民講座】市村高志さん講演会

『復興2019』

- 誰のための「復興」? -

帰還を急ぐような国の復興政策。それは、誰のための復興なのか？



2019.6.15 SATURDAY

13:30 - 16:30 参加費無料

チェンバおおまち 多目的ホール

日時：2019年6月15日（土）13：30～16：30

場所：チェンバおおまち 多目的ホール

（福島県福島市大町4-15 最寄駅JR福島駅東口より、徒歩8分）

参加費：無料（先着申込優先）

※ 専用の駐車場がありませんので、自動車で行く場合は
近隣の有料駐車場をご利用下さい。

※ お申し込みは、TEL（024-573-5697）、または下記URLの申し込み専用
フォームからお申し込みください。
https://fukushima-30year-project.org/?page_id=7862



市村高志さん プロフィール

修士(公共政策学)

1970年、横浜市出身。両親の故郷に近い富岡町に93年に移住し、損保代理業などを営む。福島第1原発事故で東京都に一家6人で避難。2012年に避難者有志でとみおか子ども未来ネットワークを設立。現在、法政大学大学院 博士後期課程に在学中。共著に「人間なき復興」など。

申し込み
QRコード



認定NPO 法人

ふくしま30年プロジェクト

主催・問い合わせ

福島市飯坂町字一本松11-7 TEL:024-573-5697 FAX:024-573-5698
<https://fukushima-30year-project.org/> info@fukushima-30year-project.org

この事業は、「東日本大震災復興支援 JT NPO 応援プロジェクト」の助成金を活用して行っています。

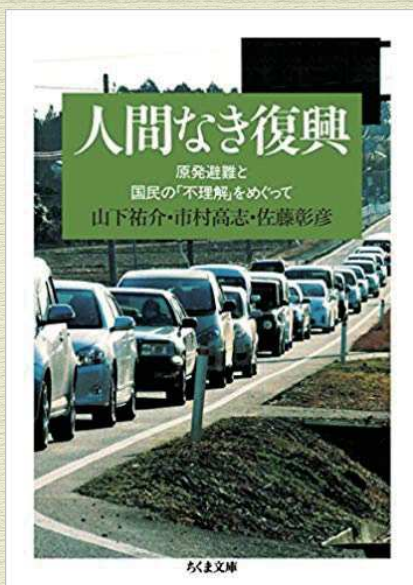
イラスト：井上きみどり

人間なき復興

—原発避難と国民の「不理解」をめぐって—

山下 祐介 著，市村 高志 著，佐藤 彰彦 著

福島第一原発事故後、廃炉の見通しもなく国は「新しい安全神話」を振りかざし、避難者帰還政策を進めている。人を「数」に還元した復興や分かったつもり国民の「不理解」がこの国をあらゆる方向へ導いている。被災者の凄惨な避難体験と、原発自治体の暮らしの赤裸々な告白を、社会学者が読み解き、対話を積み重ねて「人間のための復興」とは何かを問い直す。事故の本質を鋭く衝いた警世の書。



シリーズ：ちくま文庫

定価：本体 1,200 円 + 税

Cコード：0136

整理番号：や-49-1

刊行日：2016/11/09

判型：文庫判

ページ数：416

ISBN:978-4-480-43400-5

JANコード：9784480434005

【講演会参加お申込書】

| | | | |
|-----|------|-----|--|
| ご氏名 | ふりがな | 電話 | |
| | | メール | |

FAX 送信先

024 - 573 - 5698

↓ 下記 URL、QR コードのページからの申し込みも可能です。

https://fukushima-30year-project.org/?page_id=7862

申し込み
QRコード

